

手柄山温室植物園だより

シリーズ：姫路市に見られる身近な植物

32. ムシクサ（ゴマノハグサ科クワガタソウ属）

Veronica peregrina L.

2015年4月

田畑や川のそばなどのやや湿ったところに生育する小形の一年草です。茎は軟らかくやや肉質で毛がないかあるいは腺毛が散生し、高さ10～20cmで多少分枝、斜上します。赤紫色を帯びる個体も多く、腺毛がある個体は赤紫色を帯びる傾向があるようです。葉は線形～披針形で全縁か不明瞭な少数の鋸歯があり長さ8～25mm、幅2～5mmで、茎の下部は対生で上部では互生になります。4～5月に径2mm程度の花を葉腋に1花つけ、白色でわずかに淡紅色を帯びます。蒴果はときにゾウムシ類が産卵し、虫えいをつくり球形に膨らみ、ムシクサの名前の由来になっています。分布は日本全土、アジア、アメリカ、オーストラリアで、ヨーロッパに帰化しています。姫路市においては広く見られ、田んぼがあるところによく見られます。



ムシクサ



腺毛があるムシクサ



花の拡大